

イモリしんぶん

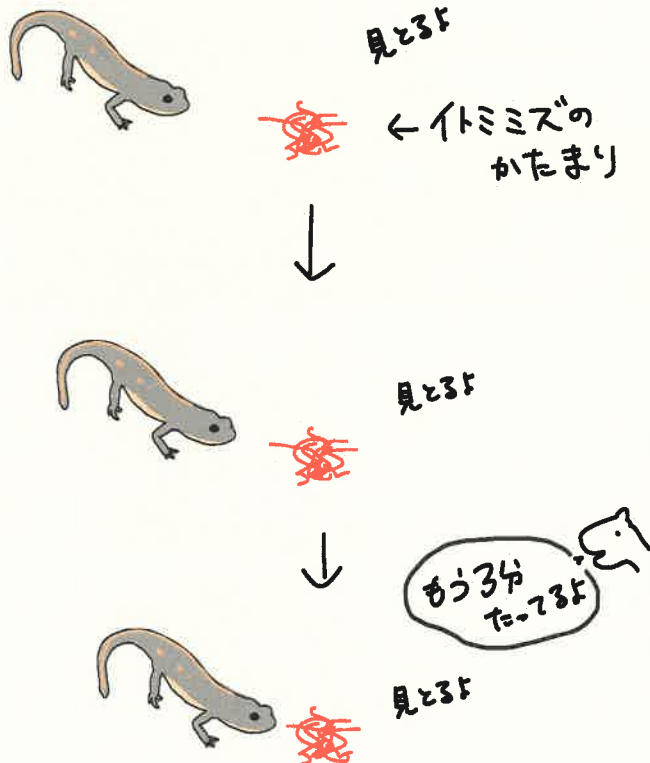
Vol. 11

発行日：2021年 12月 7日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

幼体イモリの採餌行動

基本的に上陸した幼体イモリは、餌を取って食べる行動（これを採餌行動といいます）が下手です。獲物を見つけ、狙いを定めて、捕食するまでの行動がとても遅いです。飼育下だから下手なのか、元々このような採餌行動なのかは判断できませんが、幼体イモリが野生で暮らすことは、とてもではないですが想像できません。

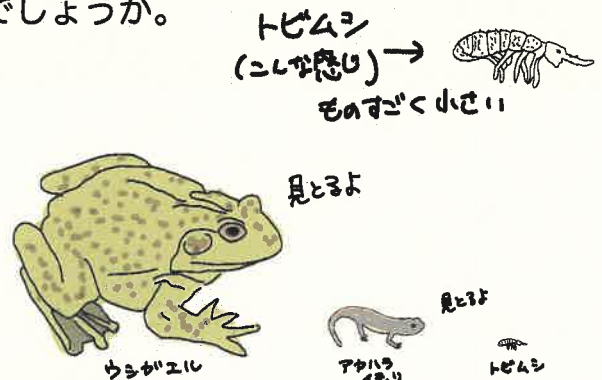


※ここまで獲物に接近するまでに3分くらいかかるイモリもいます。飼育下だからなのでしょうか。

野生の幼体アカハライモリは何を食べているのだろうか？

幼体アカハライモリについての研究は少なく、食性について述べられているものはありませんでした（Google scholarのみで探しているからかもしれませんが）。

水場のない場所で生息しているアカハライモリの記録（小林 2007）を見ると、そのイモリは常に湿った落ち葉の中に生息し、エサは腐食層にいるようなミミズやトビムシ、ダニなどを食べているようです。おそらく腐食層にはこれらの生物たちがたくさん生息し、捕食が苦手な幼体イモリでも十分に食事をする事ができるのではないのでしょうか。



※ウシガエルはアカハライモリを食べるそうです（平井 2006）。

参考文献

平井利明. 2006. ウシガエルによるアカハライモリ幼体の捕食. 爬虫両棲類学会報2006 (1)

小林朋道. 2007. 水場から離れた高山で見つかったアカハライモリの形態や行動の特異性. 爬虫両棲類学会報2007 (2)

次回 アカハライモリの模様